

本講演の目標

ティーチング・ポートフォリオについて

- 構造や特徴, 内容, 作成方法など概要を知る
- 個人および組織に対するメリットについて考える
- 所属機関での活用可能性について考える
- 導入に際しての課題について考える

お手元の配布資料の9ページ, 15ページにティーチング・ポートフォリオのサンプルがありますのでご覧になってお待ちください。

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

1

SP0D090909

ティーチング・ポートフォリオとは何か？

栗田佳代子
大学評価・学位授与機構

目次

1. ティーチング・ポートフォリオとは
2. なぜTPか? ～TPの利点～
3. よいTPとは&TPが機能するための条件と課題

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

3

1. ティーチング・ポートフォリオとは?

背景
作成の目的
特徴・構造
TPの要素
作成プロセス
よいTPとは?

背景—知名度・実績など—

- アメリカ・カナダでの普及 約2,000機関以上において利用
- 中教審答申(2008)
「学士課程教育の構築に向けて」

NIAD-UEのプロジェクト
翻訳, ワークショップ



2009/09/09

NIAD-UE KURITA

5

ティーチング・ポートフォリオとは

自らの教育活動について振り返り,
自らの言葉で記し, 様々なエビデ
ンスによってこれらの記述を裏付
けた教育業績についての厳選され
た記録

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

6

特徴

- 自己省察
- エビデンスによる裏づけ
- 柔軟性
- 厳選された情報の集積

- 全体で8-10ページ
- 集中ワークショップでメンターとともに12-15時間かけて第3稿まで作成

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

7

構造

- 教育の責任（何をやっているか）
- 理念（なぜやっているか）
- 方法（どのようにやっているか）
- 成果（どうだったか）
- 今後の目標（これからどうするか）

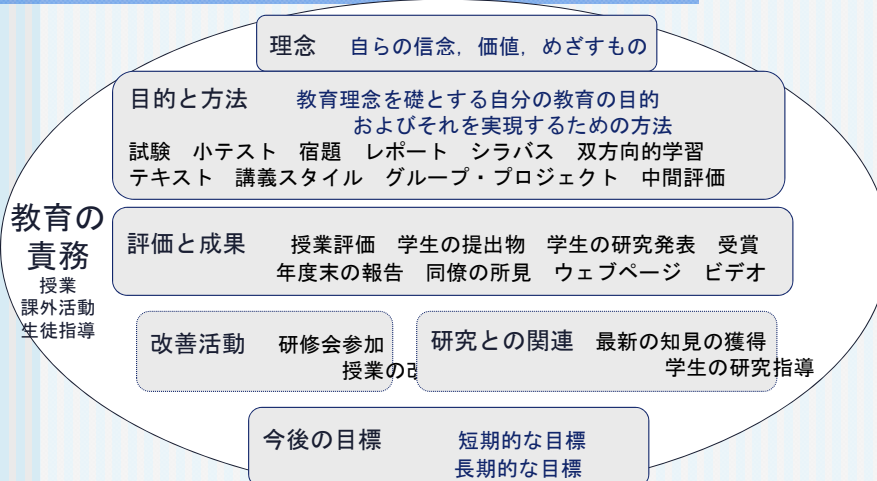
- 他「研究との関連」「改善の工夫」など

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

8

構成要素

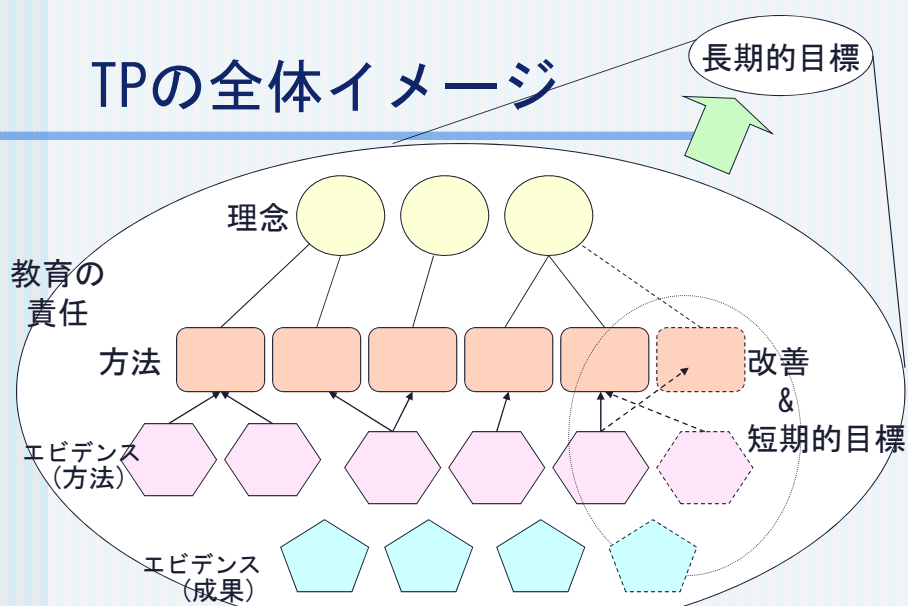


2009/09/09

NIAD-UE KURITA

9

TPの全体イメージ



2009/09/09

NIAD-UE KURITA

10

自己評価書とTPの類似性

	自己評価書	ティーチング・ポートフォリオ
作成対象	機関	教員
作成目的	質保証, 質の向上, 説明責任	業績評価, 質の向上, 情報共有
評価者	第三者評価機関	管理職
評価の観点	評価基準＋独自の 観点	基本的に自由だが 柱となる項目有
根拠資料の自由度	大学が独自に添付	教員が独自に添付

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

11

2. なぜTPか? ～TPの利点～

TP作成の目的
組織へのメリット
教員へのメリット

TP作成の目的

- 教育改善
- 昇進・採用，優秀教員賞などの教員の教育業績評価資料
- 知の共有
- 情報発信

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

13

組織へのメリット

- 教員の教育活動の理念の把握—「なぜそうしているのか」
- 見えにくい教育活動をひろいあげる
- 様々な取組みの統合
- 教員評価における多様な評価視点
- 教育資源の共有
- 外部への発信

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

14

教員へのメリット

- 教育者としての振り返り
- 教育活動の礎として
- 教育の正当な評価：評価者へのアピール手段
- 評価への効率的な対応・省力化
- 各種の提出資料に対する意識変容

- 主体性の回復・QOLの向上

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

15

3. よいTPとは & TPが機能するための条件と課題

よいTPとは？

- 「何のために／誰が読むのか」が明確
- 作成者によるしっかりとした振り返り
- 責任－理念－方法－成果－目標
の一貫性
- 選りすぐった項目と記述
- 多様かつ確かなエビデンス
- 更新する気が起こること

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

17

TPが機能するための条件と課題

- 執行部と作成者のTPに対する正しい理解
- 導入プロセス 時間をかける必要
- 評価方法などの綿密な制度設計
- 作成者の尊重
- メンターの確保
- 維持・更新方法

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

18

(資料) TP作成の実際

集中型ワークショップ
メンターのこと
Workshop Tips

集中型ワークショップ

もっとも効率がよく完成率も高い作成方法

- 2泊3日 夏休みなど講義期間外
- 事前課題を提出の上参加
- 3回にわたるメンターとの個人ミーティングを経て第3稿を完成



2009/09/09

NIAD-UE KURITA

20

メンターのこと

- 理論上は独力でも作成可能だがメンターの果たす役割は非常に大きい
- メンターの役割：共同作業者
- メンターに必要な資質／能力
- メンターの育成・メンターへの配慮

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

21

Workshop Tips

- 参加者の満足度が高いのは,
 - 短期集中的なプログラム形態
 - 振り返りに集中できる環境
 - 参加者同士の交流
- メンターは
 - 異なる専門領域の人がよい
 - TP作成経験者であること
 - 経験不足はメンターミーティングでカバー可能

2009/09/09

NIAD-UE KURITA

22

ありがとうございました

栗田佳代子

kurita@niad.ac.jp